

令和2年度 学校評価報告書

島根県立松江工業高等学校 全日制課程

教育目標	(1) 学力を育む (2) 社会力を育む (3) 人間力を育む (4) 学校魅力化の推進
------	---

4段階評価	A	ほぼ出来た	3.2 以上
	B	概ね出来た	2.6~3.2
	C	やや不十分	2.0~2.6
	D	不十分	2.0 未満

アンケート調査結果(数値1~4で回答)の平均値による区分 ※0:わからないは除く (4:よく出来ている 3:大体出来ている 2:あまり出来ていない 1:出来ていない 0:わからない)

教育方針	重点目標 (学校(各部))	担当 分掌	学校評価質問項目	教職員 評価	生徒 評価	保護者 評価	自己評価		学校関係者評価		改善策	
							評価 (昨年)	結果概評	コメント	評価		
次世代を担う社会に有為な形成者として、 (一)すぐれた知性 (二)高い品性 (三)健康な身体 人権を尊重し人類の平和と発展に寄与できるすぐれた資質を養う。	(1)	教務	補習授業や指導方法の改善を図る。	B 2.9	B 3.0	B 2.9	B (B)	コロナ禍をきっかけとし、リモート学習の必要性を認識させられた1年であった。本校でもGsuiteなどリモート学習のための準備を行い、教員研修も実施し新しい指導方法の確立を目指し取り組んだ。各学科及び教科において、重点をおく資格を明確にし、教員間で分担し補習指導を積極的に行い成果を挙げた。	コロナ禍の中、教職員の方も学力の向上に対し、授業内容も工夫されたと思う。資格・検定の取得のための補習指導に積極的に取り組まれたことを評価する。	B (B)	生徒の間隔に配慮しながらグループワークを積極的に取り入れることや、ICTを活用し文字による発表をするなど、さらに活気のある授業展開になるよう工夫をしていきたい。	
			資格・検定情報を提供し、取得のための指導を積極的に行う。	A 3.2	A 3.3	A 3.2						
		(2)	進路	「進路だより」等による地元企業の情報提供の充実を図る。	A 3.2	A 3.2	B 3.1	B (A)	コロナ禍においても、感染拡大防止対策を確実に行うことで、進路ガイダンスや進路講話、地元企業見学、インターンシップ等様々な体験学習に取り組むことができ、進路意識の向上に繋がった。進路だよりはタイムリーに進路情報を発信することで有効活用を図った。面談期間を設け、各学年・クラスで個別面談や三者面談を実施し学校・家庭との連携に努めた。	進路情報の提供は重要であり、地域企業との連携が計られている。保護者の方にもっと理解していただけるよう、連絡、面談を行ってほしい。	A (A)	コロナ禍においても、企業との連携を積極的にを行い、求人数の確保に努める。適切な進路指導が行えるように、迅速な情報提供を図る。各学年・クラスで面談期間を定期的に設け、個別面談や三者面談で保護者や生徒との信頼関係を深めたい。
	個別面談・三者面談の充実を図る。			B 2.8	A 3.2	B 3.0						
	(3)	生活習慣の確立 (生徒)	生徒	学校生活生活における礼節とマナーの定着を図る。	B 3.0	A 3.2	A 3.2	B (A)	日常的に頭髪・服装・挨拶について、指導を継続することにより、効果が上がっていると考えている。コロナ禍における、学校内外でのマナー向上の指導を更に充実させる必要がある。学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめの早期発見と対応に引き続き努めていく。	全体的に清潔感ある服装や頭髪をしている生徒が多く、元気の良い挨拶が返ってくる。生徒が理解し、納得する指導を心がけているなど、日頃の指導の成果と思う。	A (A)	挨拶については、地域においても進んで行えるように取り組む。自転車のマナーについて、街頭指導等を行いマナーアップに取り組む。
				積極的な挨拶の定着を図る。	A 3.3	A 3.4						
		部活動の推進	生徒	部活動を奨励し、健全な心身の育成を図る。	A 3.2	B 3.1	A 3.2	A (A)	コロナ禍で多くの大会が中止になったが、それぞれの部活動で精力的に活動したと考えられる。	学びが多い部活動が中止になったことは残念だったが、コロナを乗り越え、それぞれ頑張ったと思う。	A (A)	コロナ禍の影響で低迷した入部率の改善を図る。
				校内研修等で得た情報や知識を常に心がけ、人権に配慮した発言・指導を行う。	A 3.2	B 3.1	B 3.1					
		教育相談活動の充実 (保健)	保健	生徒に関する面談や相談を適切に行っている。	B 3.1	B 3.0	B 3.0	B	担任を中心に、各科や教育相談CDが一体となって、生徒の悩みや相談に向き合った。コロナ禍の影響なのか、相談希望の生徒が1年生を中心に多く、対応に苦慮した。	コロナの影響で、生徒の不安はたくさんあったと思うが、しっかり向き合っていたと思う。	B	教育相談CDのみならず養護教諭や他の保健部教員で協力し、生徒の悩みや相談に対応していく。
				HP・広報活動が十分に行われている。	A 3.2		B 3.1					
	(4)	校内活動の広報活発化 (総務)	総務	HPや緊急メールにより緊急情報が適切に連絡されている。	A 3.2		A 3.5	A (B)	HPでは、コロナ禍で来校制限等がある中、校内行事等の情報発信を頻繁に行った。また、緊急メールを導入し、緊急情報の提供体制を強化した点が高く評価された。	緊急メールへの迅速な対応は、保護者への安心感も増し、評価できる。校内行事等の情報発信を行い、緊急情報の提供体制を強化された。	A (B)	緊急メールの導入は高評価であり、今後も有効利用していきたい。HPについては、校内の行事を中心に情報発信をできるだけ盛んにしていきたい。
				積極的にICT機器を使った授業等に取り組んでいる。	A 3.2	A 3.3	B 3.1					
新型コロナウイルス感染症に対する適切な対応		教務	コロナ禍による臨時休業に係る学習指導が適切に行われている。	B 3.1	A 3.2	B 3.1	B	臨時休業期間中の家庭学習用の教材を動画等で作成しDVDに記録して提供した。さらに、ICT機器の積極的な活用に取り組んだ。また、教室で行う授業で教員が大きな声を出さなくても生徒に伝わるよう、各教室にポータブルスピーカーを設けた。	臨時休校中、学習教材が多く届き、驚いたという声を聞いたが、その後の学校での学習指導等が順調に進んでいることを嬉しく思う。これを機にICT機器利用の促進が図られることにも期待したい。	A	遠隔授業の準備を今後も進めるとともに、Gsuiteを臨時休業のためにだけに利用するのではなく、課題の配付・回収の円滑化等、通常の学校生活においても利用していきたい。	